

第3章 各種環境施策

地球温暖化等の環境問題が地球規模で広がりを見せ、将来世代へも影響を及ぼすことが懸念されていることから、地球温暖化対策には、環境対策と経済活動を両立した持続性のある取組が求められています。

【実施事業】

1 奈良市地球温暖化対策地域協議会（通称：ならエコ・エコの和、NEW）

奈良市地球温暖化対策地域協議会は、地球温暖化対策の推進に関する法律第40条第1項に基づく組織で、平成20年（2008年）10月26日に設立されました。市民、事業者、行政等が対等な立場で和をもって協議し、パートナーシップにより地球温暖化対策等の活動を推進することで、環境（エコロジー）も経済（エコノミー）も持続可能な社会をめざしています。当協議会では、省エネ・創エネの推進、環境教育の推進、3Rの推進、公共交通機関の利用促進等のプロジェクトが進められています。

(1) 環境対談動画「インド・日本のSDGs」作成

写真家タンデレ中田氏が撮影されたインドを中心とした写真を見ながら、落語家の桂文鹿氏、シタール奏者の石濱匡雄氏、インドで日本人宿サンタナロッジを経営するフォクナ・ダッシュ氏が「海洋・大気汚染」「水とトイレ」「貧困」「ジェンダー」「教育」などをテーマにインドと日本の違いや共通点など、SDGsと環境をからめて語った対談動画を作成しました。YouTubeにアップした後、NEWホームページやfacebookで紹介するとともに、各出演者のfacebook等で告知していただき、啓発を行いました。



(2) 奈良県立大学との連携協定の取組

人的、知的資源の交流及び活用を図ることで相互の進展を目指すとともに、地域社会への貢献並びに地域の活性化を図ることを目的に奈良県立大学との連携協力に関する協定を平成29年（2017年）12月に締結しました。令和元年度（2019年度）は、省エネ・3R・交通プロジェクトの企画・実施を中心として、エコエコサロンなどのイベントなども学生に案内し、学生の学ぶ意欲を向上し、積極的な参加を促していましたが、令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン井戸端会議への参加を促しました。

(3) オンライン井戸端会議

令和2年度（2020年度）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集まって行う例会を実施せず、省エネ・3Rの推進及び公共交通等の利用促進のための啓発活動をオンライン井戸端会議として開催しました。オンライン井戸端会議は、地球温暖化の影響に備える適応策・防災や省エネ対策等をテーマに4回実施し、参加者は延べ28名でした。

(4) 「茶話～タイムズ」の発行

COOL CHOICE 普及啓発チラシとして、エコや環境に気付いてもらうための情報誌「茶話～タイムズ COOL CHOICE 特別号」を2,000部作成し、市公共施設に設置するとともに、おしえて ECO キッズ！作品展示会等において配布しました。



2 国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」普及啓発

「COOL CHOICE」とは、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、環境負荷の少ない製品への買換えやサービスの利用など、日々の生活の中で「賢い選択」をしていこうという取組です。その取組の普及啓発を地域住民や各種団体と連携して実施しました。

(1) おしえてECOキッズ！・あつまれECOキッズ！

「おしえてECOキッズ！」として、小学3～6年生を対象にエコアイデアコンテストを実施し、エコアイデア・エコ発明部門96作品、おもしろエピソード部門10作品、合計106作品の応募の中から35作品を最優秀・優秀・入選として選考しました。

「あつまれECOキッズ！」として会場開催の予定で準備していたところ、奈良市新型コロナウイルス感染警戒レベルがステージ3（感染急増段階）に引き上げられたことを受け、急きょオンライン開催に変更しました。表彰式、おしごと体験及び体験教室をオンラインにて実施しました。



(2) COOL CHOICEセミナー

奈良市地球温暖化対策地域協議会や市内で活動している環境NPO団体等の協力を得て、家庭でできる省エネのコツや自然エネルギーの活用等について専門家が出席してセミナーを4回開催し、80人の参加がありました。

